

新学期を迎えオバマ大統領が生徒にメッセージ

オバマ大統領は新学期が始まる9月8日、バージニア州アーリントンンの高校に出向き生徒と直接対話を行った。この様子は全米の幼稚園児、小学生、中学生、高校生にライブで放映された。

「皆さんと大切なことを話し合うために、私は今日ここにやってきました。教育について、またこの新学期に皆さんに何を期待するかについて話し合いたい」という前置きで始まる20分弱のメッセージは具体的な事例を盛り込んでおり、どの年齢層の子供にも分かりやすく、親しみやすく、心に響く。私が属している米国のコミュニケーション担当者の組織であるRagan Communicationsはこのメッセージに対しGrade Aの評価をし、絶賛している。

彼はまず生徒としての責任は何かについて述べる。「皆さんの一人ひとりが、自分の得意とする分野をもっている。他の人に提供できるものを持っている。そして、その強みがいったい何であ

るかを発見するのはあなたの責任である。そして教育こそが、あなたの強みを発見する機会を与えてくれるのです。あなたは文章を書くのが、そして本を書いたり、新聞の記事を書くのが得意かもしれないけれども、



英語の授業で論文を書いてみるまでは、あなたはその強みに気づかないだろう。大革新をもたらしたり、大発明をする可能性を持ち、iPhoneまたは新薬またはワクチンを生み出すかもしれないけれど、あなたが科学の授業でのプロジェクトに従事するまではその強みに気づかないだろう。」

「人生で何かを成し遂げようとするなら、まず教育が絶対必要なんだ。医師、先生、警察官になりたい？ 看護婦、建築家、弁護士、あるいは軍人になりたい？ どのキャリアを目指そうとも、優れた教育を受ける必要があるのだよ。学校を中途退学し、そして良い仕事に就けるなんてことはありえない。そのために必死で勉強し、トレーニングを受け、学習する必要があるのだよ。癌とエイズのような病気を治療するためにも、新しいエネルギー技術を開発し、環境を保護するためにも、あなたがたは科学と数学の授業で習得する知識と問題解決の技術が必要となる。また貧困やホームレス、犯罪や差別と戦い、私達の国をより公正で、より自由な国にするためにも、あなたが歴史や社会科で習得する洞察と考察のスキルが必要となる。」

このメッセージの聴衆のなかには幼稚園児をも含めているが、大統領は子供たちに正面から向き合う。あたかも成人に諭すがごとく学習することの重要性を、これから学校で学ぶことが決して無駄でないことを生徒たちに説明している。

大統領はHardwork を子供たちに要求する

「必要な支援を与えてくれる大人が周囲にいないかもしれない。家族の誰かが失業し、生活に困っているかもしれない。近所には安全と思えない人々が住んでいるかもしれない。非行に誘う友人が近くにいるかもしれない。だからといって、そのような環境を理由に、宿題をサボったり、非行に走ることはしてほしくない。」と語り掛ける。そして自分自身が、そしてミシェル夫人が子供時代に置かれていた厳しい環境について具体的に触れる。

次に大統領はHardwork(必死で課題や目標に取り組むこと)を子供たちに要求する。まるで会社の社長が社員に送るメッセージのようである。「あなたがたは、テレビなどを視てHardworkを経ずしてラップ歌手、バスケット選手、テレビタレントなどになり、金持ちになり、成功できると思っているかもしれない。しかしそのようなチャンスは極めて少ない」と安易な考え方を戒める。そして名声を成している人々も、失敗を繰り返し、必死で努力し、やっとの思いで成功したと教える。「マイケル・ジョーダンが彼の高校バスケットボールチームから干されていた。彼は数百の試合に負けている。数千回のシュートに失敗している。」「困った状態に陥っているとしても、それはあなたがより一層、必死で取り組む必要がある事を意味しているんだ。好ましくない成績をとったならば、それは、あなたが愚かであることを意味するのではなく、勉強にもっと時間を費やす必要があることを意味しているに過ぎない。」「人間は生まれながらにして得意なものがあるわけでない。Hardworkを経て上手くなる。新たにスポーツを開始するとき、あるいは歌を習い始めるとき、まず練習・実践しなければならない。これはあなたの学習に関しても同じである。」

子供たちに今さらHardworkを説くことは陳腐かもしれない。早速、翌日以降の新聞紙上では多くの賛否両論が掲載されている。「このようなことを子供に説くのは彼の責任ではなく、本来は私の責任だ。最近の親たちは親としての責任を果たしていない」と大統領が考える故に、彼は介入する必要があると判断したのだろう。」とある親は投書。9歳の小学生は「本当に励まされた。私の後々の人生できっと役に立つわ」とコメントしている。二宮尊徳を使った道徳論と似てはいるが、現代のヒーローであり、苦労を重ねた大統領がHardworkを説くことには確かに重みがある。

編集後記

コミュニケーションで最も大切なことは話し手が聞き手の目線に合わせて内容を考え話すことです。この原則をオバマ大統領は、今回の生徒との対話においてもしっかり実践している。この姿勢は政治、企業、NGOなど分野を問わず、日本人のリーダーに最もかけているもののひとつと思います。 野尻